

平成 27年 06月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

和風住宅 和座

グループの名称

和座

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名	須藤 昭義	代表者印
代表者所属先	須藤工務店	
代表者構成員番号	V-2, VI-2	
代表者所在地	岩手県西磐井郡平泉町平泉字花立41-29	
代表者電話番号	0191-46-3664	

(グループ事務局)

事務局事業者名	有限会社 小岩材木店	
事務局構成員番号	II-1	
事務局担当者名	小岩 義典	印
事務局郵便番号	029-4102	
事務局所在地	岩手県西磐井郡平泉町平泉字柳御所22-2	
事務局電話番号	0191-46-2255	
事務局FAX	0191-46-3848	
事務局担当者E-mail	koiwazaimokuten@clock.ocn.ne.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	和風住宅 和座
2. グループの名称(必須)	和座
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県南
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	須藤 昭義
7. グループ代表者の所属先(必須)	須藤工務店
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-2, VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	岩手県西磐井郡平泉町平泉字花立41-29
10. グループ代表者電話番号(必須)	0191-46-3664
11. グループ事務局事業者名(必須)	有限会社 小岩材木店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	II-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	小岩 義典
14. グループ事務局郵便番号(必須)	029-4102
15. グループ事務局所在地(必須)	岩手県西磐井郡平泉町平泉字柳御所22-2
16. グループ事務局電話番号(必須)	0191-46-2255
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0191-46-3848
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	koiwazaimokuten@clock.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	1	
V. 設計	4	
VI. 施工	5	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	岩手県産材	岩手	合法木材認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計		0 戸		地域材加算合計		0 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	0 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸
		うち申請が未確定	0 戸		うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計		3 戸		地域材加算合計		1 戸	
	うち申請が確実	0 戸	うち申請が未確定	3 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸
		高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計		0 戸		地域材加算合計		0 戸
うち申請が確実	0 戸	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸	
	C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)		優良建築物					
うち申請が確実	0 棟	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²				
	0 棟		0 棟	0 m ²				

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	地域材の使用量に応じて、各事業者の補助申請の配分を決定する							
--	-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅				完了実績見込み			
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	竣工済	戸	竣工予定	戸
	木造建築物							
採択棟数	棟	採択床面積	m ²					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和風住宅 和座	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 和座	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	「和」の空間づくりを大切にし、日本住宅の美を活かし、地域や周りの外観にも配慮した現代和風造りの住宅	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材には長尺材を使用、地震に強い建物構造として在来工法にて建築します。内部造作材には岩手県産の杉を中心に使い、住む人の心が和む空間づくりのお手伝いをします	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	現代和風の家づくりをご提案していますので、日本人の心休まる「和室」を取り入れた住宅空間設計を主体とした家づくりです。	○
④①～③の背景	東北地方の気候に合わせた高性能住宅と共に住みやすい空間づくり	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	土台＝桧4寸 梁・桁＝長尺材 化粧材＝岩手県産等 杉材	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	建築にあたりグループ内での定例会を開催	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	定例会の開催	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	各業者の情報の取りまとめ	○
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ内の施工材料は4寸仕様を基準とする	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	グループ内、各上棟時による、構造材、仕口加工の検査、造作材加工を現場勉強会とする	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	使用する木材がどれだけ、使われているか、施主さんに数字でもわかってもらえるように見積を提出する。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	和室を取り入れることで、木材の美、地域材使用の促進を働きかけ、造作材加工をする若手大工さんの育成にも繋げる。木を使い、木を活かす 取組を続けていく	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和風住宅 和座	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 和座	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	半年に1回の点検をグループ内業者にて開催
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	水廻りなどの床下点検の実施
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	上棟時、完成時の見学会を行うことで、建物外部、内部の説明を行う
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	事務局を年次で交代し、グループの継続を図る
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループ内での情報周知
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	現場施工大工さんとの意思疎通を図る
	② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	月1回開催予定
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	施主さんとの対話を各業者もできるようにする
	④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	定例会にて施主さんも交えた打ち合わせ
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	3人
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	グループ内早期情報提供
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和風住宅 和座	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 和座	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	土台=桧 梁・桁=米松及び岩手県産等 杉 化粧材=岩手県産等 杉など	○
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	坪あたりに1㎡近くの材料を使用 1棟あたり4~5割使用	○
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	化粧材には地域材を用いる	○
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		△
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	定例会にて情報開示	○
	②グループ全体における地域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用		
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用		
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組		
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組		
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	築年数が20年以上経過している建物については、バリアフリー化、ユニットバスへの交換を進め、岩手県復興住宅などの活用も提案しています。	◎
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。